

事務事業名		葛生化石館講座等開設事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務	担当課	葛生化石館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係			担当課長名	金原隆徳
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14839	一般	10	4	4	葛生化石館講座等開設事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法、博物館条例		実施方法		直営	
								事業分類		講座・教室・イベント等開催事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
葛生化石館の講座、教室、イベント等を実施。企画→参加者募集→事前準備→講座実施			<ul style="list-style-type: none"> 化石採集教室(4/27、8/23、9/27) 地質の日記念事業(5/11) 企画展関連講演会7/20、8/3) ジオハイキング(5/31、11/30) 化石発掘in葛生(7/19、20) 								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
受講者数			人	236	298	300	300	300			
自主講座開設数			回	7	10	7	7	7			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民受講者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市民数(人口)			人	123,182	122,582						
受講者数			人	236	298	300	310	320			
来館者数			人	24,920	19,738	19,100	19,200	19,300			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
市民の文化教養を高め、学習意欲の向上を目指す。より多くの人に自然や化石、鉱物などについて知識を深めてもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
受講者数/市民数			%	0.2	0.2						
受講者数前年対比			%	87.1	126.3	100.7	103.3	103.2			
参加して良かった/受講者数			%	94.9	95.9	96.0	96.1	96.2			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合			%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円	46	54	155								
	一般財源	千円	10	20	9								
	事業費計(A)	千円	56	74	164	0	0						
事業費の内訳	千円	旅費	9	5	9								
		消耗品費	56	64	148								
		傷害保険料	3	5	7								
人件費	人	2	2	2	2	2							
のべ業務時間	時間	495	603	765	927	1,062							
人件費計(B)	千円	1,926	2,376	3,015	3,653	4,185							
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,982	2,450	3,179	3,653	4,185							

事務事業名	葛生化石館講座等開設事業	担当部	教育総務	担当課	葛生化石館	担当係	
-------	--------------	-----	------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年度より専任の学芸員が配属になり、講座を積極的に実施するようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成16年度学芸員の配置により、展示内容が充実した。平成17年2月28日の合併を機に博物館登録をし、博物館としての機能が整備された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	参加してよかった。また参加したい。今後も開催して欲しい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	広報等により周知。申込者ができるだけ受講できるよう調整。前回参加できなかった者に対して案内状やメールを発送した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	地域の化石・鉱物等を通し、自然史の理解を深めることは郷土への愛着を育むことにつながり妥当である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	採集教室などは、化石産地や鉱山に入るので、危険を伴い、市が責任を持って行う必要がある。なお、これらの事業には一部ボランティアの参画を得ている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は化石に対する理解を高めるものであり、市民の文化教養の向上、生涯学習の推進を目的としている。そのため化石館の利用者が増えることが予想され、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	地質の日イベント、化石採集教室は人気が高いが、他の講座への参加は市民に対しての周知が十分とは言えず、今後参加者を増やせる余地は有ると考える。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	この事業は、必要な消耗品等が主なもので、委託せずに職員が企画から実施まですべてを行っているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	平成25年度から、講座参加者から負担金を課すことになった。保険料や材料代という最低限の受益者負担を課している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
本事業は休止も終了もできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			